

日本一おめでとう！栄冠に輝いた今村彩華さん

▶第16回全日本女子相撲選手権大会



国内の女子相撲大会のメインとなる第16回全日本女子相撲選手権大会が10月2日、愛媛県西予市で開催され、阿蘇中央高校1年の今村彩華さん（蔵原）が、一般の部軽量級で見事優勝し、日本一に輝きました。さらに一般の部（高校生以上）で一番若年でありながらベテラン勢を抑え優勝という快挙も成し遂げました。

今村さんは、小学4年生の時に内牧相撲道場に入部。中学でも迷わず阿蘇北中相撲部に入り、男子と同じ練習をこなしてきました。現在も週3回道場へ通い練習。コーチによると今村さんの持ち味は瞬発力で、スピードある立ち合いが強みとのこと。なお、今村さんは6年生と中学3年生の時も同大会で全国3位になった功績があります。

馬にふれあい乗馬やエサやりを体験

▶小学生による大自然におけるセラピーホース体験事業



阿蘇地区少年警察ボランティア連絡協議会（吉田尚照会長）と阿蘇警察署が主催したセラピーホース体験が10月15日、北外輪の夢★大地グリーンバレーで行われ、阿蘇市内の小学生64人と保護者50人が参加しました。

同協議会は、少年の健全育成のため情操教育等を実施しており、今回は馬とのふれあいを企画。馬をよく見る機会が多い阿蘇の子どもたちですが、触ったり乗馬をしたことがない子どもも多く、優しくて温かい馬とのふれあいは大変喜ばれました。

まだまだ走れるばい！秋空の下、各競技で奮闘！！

▶第7回阿蘇市シルバースポーツ大会



健康増進や参加者同士の親睦を深めることを目的として、60歳以上の市民を対象に毎年開催されているシルバースポーツ大会が9月29日、阿蘇、一の宮、波野の会場でそれぞれ行われ、全体で2,400人が参加し晴天の秋空の下、心地よい汗を流しました。

大会は『50m競争』や『玉入れ』といったお馴染みの競技をはじめ、お尻で風船をわる『尻圧測定』や一升瓶を足で立てる『ピン立て』などユニークな競技が目白押し。

参加者は『まだまだやれる！』と言わんばかりに、それぞれの競技で奮闘し熱戦を繰り広げ、終始賑やかな雰囲気の中スポーツを楽しみました。



優秀施工者「建設マスター」とし大臣表彰 軸丸鉄男さん

▶平成23年度優秀施工者国土交通大臣顕彰



▲「地道にこつこつとやってきてよかった」と喜びを語る軸丸さん

中通の(有)笹原木工所に勤める軸丸鉄男さん(59歳、古神1区)が、平成23年度優秀施工者国土交通大臣顕彰を受賞されました。この顕彰は、国土交通省が建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している建設技能者の中から特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を称えたもので、新たな「建設マスター」として顕彰されます。

建具工として笹原木工所で43年間地道に技術に邁進された軸丸さんは、「建具部門」で受賞。全国で2名選ばれたうちのお一人です。

なお、顕彰式典は9月15日、東京都で行われ、推薦した笹原博明さんと出席。前田大臣より表彰を受けられました。

タイ・バンコクの高校生と交流

▶文部科学省委託事業「青少年教育施設を活用した事業」



国立阿蘇青少年交流の家が主催した、海外の青少年を招き交流を行い日本への理解を深める事業が10月21日~30日行われ、タイ・バンコクの高校生25人引率3人が阿蘇市を訪れました。

一行は初日、阿蘇市役所に表敬訪問し職員から歓迎を受けた後、阿蘇神社や水基巡りを見学。その夜から2泊ホームステイを体験しました。2日間、阿蘇清峰高校、阿蘇高校・阿蘇中央高校に通い学校生活も体験。タイの高校生たちは「生

活水に雨水を使うほど水に苦労。豊かで美味しい阿蘇の水に感動した」と阿蘇の自然と自然環境への取組を絶賛。「日系企業に就職するため塾に行き勉強している」と日本企業への関心も深く、交流を深めながら互いに刺激し合いました。

神興行列600人超が内牧を練り歩き奉納

▶内牧菅原神社例大祭



10月9日、400年の歴史がある内牧菅原神社例大祭が盛大に開催されました。神興行列が内牧5区の内牧菅原神社から内牧1区の御仮屋(通称右馬之允さん)まで往復をするもので、神興行列に付き従う随兵、巫女、稚児、飾り馬などの奉納行列がまちを練り歩きました。各区による馬追いは威勢のよい勢子たちの掛け声と鳴り物が賑やかで、祭りを盛り上げました。

今年の年番は内牧3区で、10日は阿蘇体育館で牛替神事も行われました。